

〔別表〕 令和4年度全国学校保健・安全研究大会 課題別研究協議会

課題		研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第1課題	学校経営と保健組織活動	心豊かにたくましく生きる力を育むための特色ある学校経営と組織活動の進め方	心豊かにたくましく生きる力を育てるためには、児童生徒の発達の段階を考慮して学校教育活動全体で取り組む必要がある。 そのため、学校経営の進め方と保健主事等の果たす役割並びに学校、家庭及び地域社会が一体となった組織活動の効果的な取組について協議する。	① 健康教育を中核とした学校経営の進め方について ② 保健主事を核として推進する健康教育の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した学校保健委員会の効果的な取組について
第2課題	保健管理	生涯を通じて健康の保持増進を目指す学校、家庭及び地域との連携を図った保健管理の進め方	生涯にわたり心身ともに健康な生活を送るためには、ヘルスプロモーションの理念を生かし、学校や地域の実態、個々の子供に応じた対応を図る必要がある。 そのため、学校での適切な保健管理の進め方について協議する。	① 適切な健康診断の実施と事後措置の進め方並びに結果の活用について ② ヘルスプロモーションの考え方を生かした指導や保健管理の進め方について ③ 感染症・食中毒等の予防及び発生時の対応について
第3課題	心の健康	豊かな人間性と社会性を育み、心の健康の保持増進を目指す教育の進め方	自然災害や重大な事件・事故の発生に伴う子供の心のケアや、友人や家族などの人間関係の悩みなど、メンタルヘルスに関する問題が多様化している中、これらの問題への適切な対応が求められている。 そのため、心の健康づくりを目指した教育活動や校内外の組織体制づくりの進め方について協議する。	① 児童生徒の課題に即した心のケアや健康相談の進め方について ② 心の健康づくりを目指した教育活動の展開と環境整備等の進め方について ③ 学校、家庭及び地域の関係機関との連携を図った心のケアの進め方について
第4課題	現代的健康課題	多様化する現代的健康課題に適切に対応するための保健活動の進め方	現代的な健康課題への対応にあたり、年齢や生活環境などに応じて、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要がある。 そのため、生涯にわたり健康を保持増進するための望ましい生活習慣づくりに関する指導の進め方について協議する。	① 発達の段階に応じた望ましい生活習慣づくりの進め方について ② 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した望ましい生活習慣づくりに関する指導の進め方について
第5課題	歯・口の健康づくり	生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方	生涯にわたる健康づくりを实践するためには、自分の歯や口の健康に関心をもち、自分の課題を把握し、解決していくことができる資質や能力を育てることが大切である。 そのため、歯・口の健康づくりを目指した学校歯科保健活動の進め方について協議する。	① 歯科健康診断の効果的な実施と結果等を活用した健康教育の実施について ② 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導計画の作成、実施、評価及び改善について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した学校歯科保健活動の進め方について

課 題		研究発表者	講師・指導助言者（コーディネーター）
第 1 課 題	学校経営と保健組織活動	① 神奈川県立保土ヶ谷高等学校 教 頭 阿 部 志 織	○講 師 愛知教育大学 准教授 山 田 浩 平 ○指導助言者（コーディネーター） 神奈川県立総合教育センター 体育指導センター指導研究課 主幹兼指導主事 斎 藤 祐 介
		② 青森県南津軽郡藤崎町立明德中学校 養護教諭 森 菜 穂 子	
		③ 岩手県二戸市立福岡小学校 指導養護教諭 永 井 悦 子	
第 2 課 題	保健管理	① 北海道枝幸郡中頓別町立中頓別小学校 養護教諭 木野下 珠 紀	○講 師 公益財団法人日本学校保健会 専務理事 弓 倉 整 ○指導助言者（コーディネーター） 長野県教育委員会事務局 保健厚生課 主任指導主事 小田切 優 美
		② 岩手県立宮古恵風支援学校 教 諭 千 崎 友 里 子	
		③ 山梨県山梨市立後屋敷小学校 養護教諭 前 嶋 真理子	
第 3 課 題	心の健康	① 宮城県仙台市立松陵中学校 養護教諭 及 川 典 子	○講 師 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 教 授 十 一 元 三 ○指導助言者（コーディネーター） 福岡県教育庁 教育振興部体育スポーツ健康課 指導主事 宗 真由美
		② 岩手県陸前高田市立高田小学校 副校長 中 島 和 孝	
		③ 京都府京都市立紫野高等学校 養護教諭 坂 尾 淳 子	
第 4 課 題	現代的健康課題	① 群馬県高崎市立倉淵中学校 保健主事 花 岡 芳 幸	○講 師 横浜国立大学教育学部 教 授 物 部 博 文 ○指導助言者（コーディネーター） 品川区教育委員会指導課 統括指導主事 唐 澤 好 彦
		② 岩手県立花巻北高等学校 教 諭 藤 枝 寛	
		③ 宮城県気仙沼市立九条小学校 養護教諭 斉 藤 綾	
第 5 課 題	歯・口の健康づくり	① 岩手県立大東高等学校 学校歯科医 熊 谷 博 伸 養護教諭 内 館 優 香	○講 師 公益社団法人日本学校歯科医会 副会長 柘 植 紳 平 ○指導助言者（コーディネーター） 鹿児島県教育庁保健体育課 主任指導主事兼係長 楠 生 勝 宏
		② 鹿児島県鹿児島市立山下小学校 養護教諭 谷 口 由 美	
		③ 秋田県鹿角市立八幡平中学校 養護教諭 安 保 真 美	

課 題		研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第 6 課題	学校環境衛生	快適な学校環境づくりを目指す学校環境衛生活動の進め方	快適な学習環境をつくるためには、環境衛生活動の充実を図るとともに、教職員及び児童生徒が学校における環境衛生について関心を持つことが必要である。 そのため、学校環境衛生基準を踏まえた学校環境衛生活動の進め方について協議する。	① 計画的・組織的な学校環境衛生活動の実施と事後措置について ② 学校環境衛生管理の徹底を図るための取組について ③ 学校薬剤師との連携による学校環境衛生の取組について
第 7 課題	喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育	安全で豊かな社会と健康を守り育てるための喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方	近年、青少年の喫煙や飲酒、薬物乱用が広がりを見せ、依然として深刻な状況にあることから、安全で豊かな社会と自らの健康を守り育てるための教育を充実する必要がある。 そのため、発達の段階に即し、喫煙や飲酒、薬物乱用の防止教育を推進する方法について協議する。	① 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育に関する指導計画の作成、実施、評価及び改善について ② 小学校、中学校、高等学校における喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について
第 8 課題	学校事故防止対策	事件や事故、災害を未然に防ぐ事前の危機管理や発生時の適切な対応について	学校事故を未然に防ぐためには、日本スポーツ振興センター災害共済給付データを活用した事故分析手法を各学校で生かすとともに、同センターの調査研究についての理解を深める必要がある。 また、事故検証やそれに基づいた再発防止策の立案と実施、継続、情報発信等の方法について協議する。	① 日本スポーツ振興センターの災害共済給付データを活用した安全対策について ② 事件や事故、災害の検証に基づいた再発防止対策の在り方について ③ 事件や事故、災害を未然に防ぐ事前の危機管理や発生時の適切な対応について
第 9 課題	教科等における安全教育	発達の段階に応じた効果的な安全教育について	生涯にわたり安全な生活を送るためには、自他の生命尊重の理念を基盤として、進んで安全で安心な社会づくりに貢献できる資質や能力を育成する必要がある。 そのため、発達発達の段階における特徴を考慮しつつ、効果的な安全教育の進め方について協議する。	① 安全で安心な社会づくりへの参画を意識し、自らの責任を自覚して行動する生徒の育成について ② 的確な判断のもと主体的に行動し、地域の安全活動等に参加する生徒の育成について ③ 自らの安全を守るために主体的に行動し、他の人々の安全にも気配りができる児童の育成について
第 10 課題	関係機関等との連携による安全の体制整備	学校・家庭・地域が連携した効果的な安全体制整備の在り方と通学路における安全確保の方策について	学校安全体制を充実させるためには、校内体制を整備するとともに、関係機関や地域ボランティア等との連携を深めることが重要である。 そのため、学校、家庭及び地域社会が連携した効果的な安全体制整備や安全確保方策の在り方について協議する。	① 学校安全充実のための効果的な校内体制の在り方について ② 関係機関や地域ボランティア等との連携による防犯・交通安全の体制整備について ③ 関係機関や保護者・地域住民等との連携による災害安全の体制整備について

課 題		研究発表者	講師・指導助言者（コーディネーター）
第 6 課 題	学校環境衛生	① 埼玉県立川口東高等学校 養護教諭 村 上 有為子	○講 師 横浜薬科大学 教 授 小 出 彰 宏 ○指導助言者（コーディネーター） 東京都教育庁 都立学校教育都立学校健康推進課 課長代理 佐 藤 恭 子
		② 北海道市立札幌開成中等教育学校 養護教諭 西 村 香 代	
		③ 岩手県盛岡市立仁王小学校 学校薬剤師 畑 澤 昌 美 養護教諭 小 林 智 美	
第 7 課 題	喫煙、 飲酒、 薬物乱用 防止教育	① 福岡県体育研究所 指導主事 大 和 忠 輔	○講 師 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 心理社会研究室 室 長 嶋 根 卓 也 ○指導助言者（コーディネーター） 千葉県成田市立玉造小学校 校 長 塚 本 武
		② 岩手県立宮古商工高等学校 教 諭 菊 池 満	
		③ 福島県西白河郡西郷村立熊倉小学校 養護教諭 荒 井 真紀子	
第 8 課 題	学校事故防止対策	① 独立行政法人日本スポーツ振興センター 学校安全部 安全支援課 課 長 田 中 文 人	○講 師 東京工業大学工学院機械系 教 授 西 田 佳 史 ○指導助言者（コーディネーター） 東京都府中市立府中第二中学校 校 長 高 汐 康 浩
		② 群馬県立藤岡中央高等学校 教 頭 新 井 康 司	
		③ 香川県善通寺市立西部小学校 教 諭 津 谷 遼 平	
第 9 課 題	教科等における安全教育	① 山形県東村山郡中山町立中山中学校 教 諭 菅 原 和 宏	○講 師 大阪大学大学院人間科学研究科 准教授 中 井 宏 ○指導助言者（コーディネーター） 徳島県立みなと高等学園 教 頭 喜 多 泰 信
		② 大分県立臼杵支援学校 教 諭 北 山 昌 之	
		③ 岩手県花巻市立宮野目小学校 副校長 野 寺 悟 花巻市立宮野目中学校 教 諭 佐々木 茉 里	
第 10 課 題	関係機関等との連携による安全の体制整備	① 宮城県石巻市立河北中学校 教 頭 小野寺 淳 一	○講 師 東北大学 災害科学国際研究所 教 授 佐 藤 健 ○指導助言者（コーディネーター） 岡山県教育委員会 岡山教育事務所 総括参事（生涯学習課長） 木 下 史 子
		② 福島県立郡山北工業高等学校 教 諭 大 森 史 仁	
		③ 岩手県八幡平市立柏台小学校 副校長 佐々木 寿 子	